

# 学ぼう萩

～誇りにおもふ僕らのふるさと～

2012年8月4日(土)～5日(日)

場所：萩市内各所



8月4日～5日、青少年教育委員会の事業『学ぼう萩～誇りにおもふ僕らのふるさと～』を行いました。旧郡部の小学生を対象に萩の歴史・文化・自然を知ってもらうことを目的としました。合併して萩市になったけれども生活圏が違うために萩のことをよく知らない旧郡部の子ども達が多いということから、対象が旧郡部の小学生となりました。

1日目、萩博物館の清水先生のお話と博物館の常設展見学により江戸時代の萩と現在の萩について学びました。

城下町から明倫小学校を古地図と現代の地図を使って巡るスタンプラリーを行いました。猛暑の中、ラリーを楽しみながら、萩を学んでいただきました。

夜は各地域の自慢できるものや写真を使って「ふるさと自慢マップ」をつくり発表して、参加している小学生たちお互いの地域を学んでもらいました。実物として佐々並豆腐や男命イカを持ってきている子どもがいてびっくりしました。みんなこの日のために、自分たちの地域のことをしっかりと調べて、発表する内容も考えてきていて感心しました。

2日目、東光寺では普段は入れない大雄宝殿で尾河住職のお話を聞いて、三門に上がらせていただきました。次に松陰神社では椿東小学校の児童によるガイドを受け松陰神社にまつわることを学び、松下村塾の前でスタジオ・レイのメンバーによる維新劇パフォーマンスを見て、明治維新について学びました。

そして、天然の水族館と呼ばれる明神池を見学し、笠山へと移動しました。笠山では山口大学大学院の永尾教授に笠山の説明を受け、火山の噴火の仕組みを実験から学びました。永尾教授には旧タルタル21に移動したのちにも、火山により萩がどのように形成されたかを学び、火山を作る実験を行いました。

最後に2日間を通して学んだことを復習するクイズでは全班がほとんど正解しており、みんなよく見て聞いて学んでいたのが、大変うれしく思いました。こうしてカリキュラムの修了した子ども達には、閉会式において大久保理事長から1人1人に修了証が手渡されて、2日間にわたる事業が終わりました。

のんた大提灯パレードからの3日間にわたって猛暑で体力的にキツかったのですが、参加した小学生達が笑顔で帰っていく姿を見たら、充実感でいっぱいになりました。

青少年教育委員会 江山 普郎

